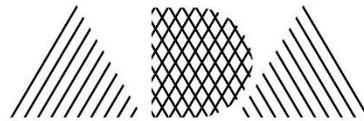


2023年6月27日

## 未来へ紡いでいく外装デザインの新コンテスト 「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2023」募集開始

ケイミュー株式会社(本社：大阪府中央区、社長：木村均)は、未来に残していきたい外装デザインを表彰するコンテスト「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2023」を開催します。美しく、新しく、景観に配慮した意欲的な作品を広く募集し、藤本壮介氏、永山祐子氏、成瀬友梨氏のトップランナー建築家を審査員としてお迎えして作品を厳選します。



# ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2023

presented by KMEW

### 企画の背景

当社は2023年12月に設立20周年を迎え、次の30周年へのスタートを切ることになります。これを機に、今年3月には新企業タグライン「未来を、いま、選ぼう」を設定。新たな価値を創出し、社会貢献を果たす企業となるという決意でスタートしました。

商品をつくるだけでなく、街並みをつくり、都市をつくり、この社会の未来をつくっていく企業となることを目指し、施工事例コンテストも「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD」として、業界を代表するコンテストとなれるよう、装いも新たに新企画としてスタートします。

### 作品募集・審査

「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2023」は、2022年8月1日～2023年8月31日までに完工し、当社商品（カタログ掲載品）を使用した物件を対象に、2023年8月31日まで募集します。

審査基準は①建築デザインとしての美しさ・新しさが感じられること②街並みや景観に対して配慮された作品であること、の2点で、施工写真や設計要旨から総合的に判断していく予定です。

審査員は、国内外で活躍する建築家 藤本壮介氏、ドバイ国際博覧会日本館を手掛けた永山祐子氏、店舗・集合住宅などの設計を広く手掛ける成瀬友梨氏ら、建築家のトップランナー3名にご賛同いただき、お引き受けいただきました。さらに、表彰式は群馬県前橋市「白井屋ホテル」で開催予定。江戸時代に創業した歴史ある白井屋旅館が前身であり、藤本壮介氏を含む内外のトップクリエイターによるプロジェクトで再生されたデザイナーズホテルです。「未来に残す」という「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD」のコンセプトの一環として選定しました。

当社では、こうした活動をさらに広げ、街や社会の美しい未来に貢献できるよう努めていく考えです。

## 「ARCHITECTURAL DESIGN AWARD 2023」開催概要

- 応募期間： 2023年6月27日～8月31日
- 対象物件： 2022年8月1日～2023年8月31日までに完工した物件  
ケイミュ-商品（カタログ掲載品）を使用した物件
- 審査基準： 建築デザインとして美しさ・新しさを感じられること。街並みや景観に対して配慮された作品であること。  
施工写真や設計要旨から総合的に判断し審査
- 予定している各賞
  - 最優秀賞 1件 50万円
  - 優秀賞 5件各 20万円
  - 特別賞 2件各 10万円
  - ケイミュ-賞 3件各 5万円
- 表彰式： 11月下旬または12月初旬。「白井屋ホテル」にて開催予定
- 案内ホームページ： [https://www.kmew.co.jp/arc\\_design\\_award2023](https://www.kmew.co.jp/arc_design_award2023)

## 審査員プロフィール



(c) David Vintiner

藤本 壮介（フジモト ソウスケ/Sou Fujimoto）

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年藤本壮介建築設計事務所を設立。2014年フランス・モンペリエ国際設計競技最優秀賞（ラルブル・ブラン）に続き、2015、2017、2018年にもヨーロッパ各国の国際設計競技にて最優秀賞を受賞。国内では、2025年日本国際博覧会の会場デザインプロデューサーに就任。

2021年には飛騨市のCo-Innovation University（仮称）キャンパスの設計者に選定される。

主な作品に、ブダペストのHouse of Music（2021年）、マルホンまきあーとテラス 石巻市複合文化施設（2021年）、白井屋ホテル（2020年）、L'Arbre Blanc（2019年）、ロンドンのサーペンタイン・ギャラリー・パビリオン 2013（2013年）、House NA（2011年）、

武蔵野美術大学 美術館・図書館（2010年）、House N（2008年）等がある。



永山 祐子 (ナガヤマ ユウコ/Yuko Nagayama)

1975 年東京生まれ。1998 年昭和女子大学生活美学科卒業。1998 年青木淳建築計画事務所勤務。2002 年永山祐子建築設計設立。主な仕事、「LOUIS VUITTON 京都大丸店」「豊島横尾館」「ドバイ国際博覧会日本館」「JINS PARK」「膜屋根のいえ」「東急歌舞伎町タワー」など。JIA 新人賞 (2014)、World Architecture Festival 2022 Highly Commended (2022)、iF Design Award 2023 Winner (2023) など。

現在、2025 年大阪・関西万博にて、パナソニックグループパビリオン「ノモの国」と「ウーマンズパビリオン in collaboration with Cartier」(2025)、東京駅前常盤橋プロジェクト「TOKYO TORCH」などの計画が進行中。



成瀬 友梨 (ナルセ ユリ/Yuri Naruse)

1979 年愛知県生まれ。2007 年東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 博士課程単位取得退学。

2007 年猪熊純氏とともに成瀬・猪熊建築設計事務所設立。主な作品に「LT 城西」「Dance of light」。主な受賞に、2015 年日本建築学会作品選集新人賞、第 15 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 出展 特別表彰、大韓民国公共デザイン大賞 国務総理賞。主な著書に、『シェア空間の設計手法』、『子育てしながら建築を仕事にする』

<http://www.narukuma.com>